

第3回 ポスト・コロナの市民連帯を展望する研究会

日時：2021年 10月 2日（土）13時30分～16時

場所：生活クラブ オルタナティブ生活館
（新横浜駅下車徒歩13分）※オンライン併用

コロナ禍のフードバンク運動の実践と展望

～非営利協同による社会的連帯経済の実現をめざして～



フードバンクかながわは、非営利協同組織12団体のコンソーシアム（共同企業体）として、2018年2月設立、4月から事業をスタートした。設立に遡ること3年前、協同組合・労働組合・市民団体による共同研究から始め、社会的連帯のテーマを「フードバンク」に決定するまでに2年間の討議を費やした。そしていよいよ準備会を立ち上げ、旗を高く掲げ、県内で活動していたフードバンク団体、自治体の生活困窮者自立相談支援機関、食支援を既に行っていた社会福祉協議会を訪問し、これら活動の現場をサポートする「中間支援組織」の役割・機能を準備した。この準備は2017年度の一年をかけて行った。

フードバンクかながわの設立呼びかけ文では、以下の「3つの目的」と「3つの機能」を掲げている。目的は3つ。①生活に困っている人・社会的に弱い立場にある人の食のセーフティネットをめざす。②フードバンク活動を通して、地域のたすけあい・支え合いを実現する。③食品ロスを減らし、食べ物の価値を活かす。そして目的を実現するための基本機能として①フードバンク中間組織としての物流機能、②ネットワークづくり、③政策提言（アドボカシー）を掲げた。

設立3年目の2020年、私たちの社会は新型コロナウイルスによるパンデミックに見舞われ、日常生活が一変した。学校の一斉休校、経済収縮と派遣切り等、コロナは社会的に弱い立場にある人々の生活を直撃した。これらの人々をいち早く支援したのは市民による活動だ。フードバンクへの期待が、日一日と高まっていった。

コロナ禍で奮闘しているフードバンクかながわの活動現場から、お二人に報告いただく。

<講演テーマ>

コロナ禍におけるフードバンク活動

藤田 誠さん

（公社）フードバンクかながわ事務局長



<プロフィール>

1978年 かながわ生協（現ユコープ）入職
⇒店舗指導部、店長等
1986年 神奈川県生協連組織担当
（県消団連、協同組合提携等に係る）
1991年 ユコープ事業連合農産商品部
シニアバイヤー
1995年 コープかながわ福祉事業検討準備⇒部長
2013年 日本生協連福祉事業会員支援部長
2017年 （仮称）フードバンクかながわ設立
準備会事務局⇒現在に至る

<講演テーマ>

食でつながる地域づくり ～フードバンクと地域の連帯～

荻原 妙子さん

（公社）フードバンクかながわスタッフ/
かながわ生き生き市民基金
地域連携コーディネーター



<プロフィール>

生活クラブで活動後、（公財）かながわ生き生き市民基金設立とともに市民基金で活動。市民基金のよとの研究会をきっかけにしたフードバンク設立とともに、（公社）フードバンクかながわに出向し活動。

10月2日研究会 オンライン参加者募集

【連絡先】公益財団法人かながわ生き生き市民基金

下記アドレスに氏名、所属等、メールアドレスを送ってください。

Mail : info@lively-citizens-fund.org

先着70名

研究会の開催目的・・・呼びかけ文から

一年前を振り返ると、コロナ情報がテレビ・新聞・ネットニュースから一方的に流され、感染リスクが高い仕事、医師や看護師など医療現場で働いている人や家族に対する社会的忌避（子どもを保育園に預けられなくなる等）が起こりました。隣の人のことを気にすること、地域で何が起きているか、議論することが殆ど無くなりました。ヨコの関係は分断され、「公共空間」が衰退し、権力（行政・政治）が剥き出しになって社会をコントロールし始めました。「不要不急」が上から決められることに抗しがたいムードがつけられ、感染すること自体が罪悪視される風潮が強まりました。コロナ禍が市民社会に与えた影響の一番は、公共空間・言論空間の弱体化だと、私は考えます。それは民主主義の後退であり、1年経った今も続いていると言わねばなりません。

しかし一方で、コロナ禍にあっても、課題解決に取り組む市民団体が増えています。食の分かち合い運動（フードバンクやフードパントリー）、子どもの教育への地域的取組み（無料学習支援）、社会的孤立への支援（ひきこもり支援・DV被害者支援）など、制度的な解決が及んでいない課題解決に多くの団体がチャレンジしています。これらの活動は市民社会のこれからとて大いなる希望です。

中間支援組織はこれら活動の現場をエンパワメントする役割を担っています。ポスト・コロナの時代、県内の中間支援組織は、どのような役割・機能を発揮できるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

= 今後の開催予定 =

第4回

（仮題）休眠預金を活用した市民団体支援活動の現状報告と中間支援組織の今後のあり方について

- ◆ 日 時：10月30日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用
- ◆ 場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや
- ◆ 講 師：小林幸治さん（認定NPO法人まちぼつと事務局長）

第5回

（仮題）コロナ禍で横浜市社協が取り組んだ生活弱者（ひとり親・大学生）支援と食料支援活動の今後の地域的展開について

- ◆ 日 時：2021年11月20日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用
- ◆ 場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや
- ◆ 講 師：池田誠司さん（横浜市社会福祉協議会地域福祉担当部長）

第6回

（仮題）ポスト・コロナ時代のNPOの課題と展望

- ◆ 日 時：2021年12月4日（土）13時30分～16時 ※オンライン併用
- ◆ 場 所：オルタナティブ生活館 5Fまなびや
- ◆ 講 師：鈴木健一さん
（特非）まちづくり情報センターかながわ（通称アリスセンター）理事